

## 12月景況感・ニーズ調査結果と景況感分析

＜12月の景況感・ニーズ調査の結果の抜粋と調査結果を受けてD I 値等による景況感分析＞

平成23年1月24日

なかつがわ全市緊急経済対策本部

### ＜12月景況感・ニーズ調査＞

- ・前年同期と比べた場合では、資金繰りが横ばいで、他の項目は改善傾向となり、景気が回復する中で一時的な中休み状態（踊り場入り）にまだあるものと思われます。
- ・6ヶ月先の見通しは、全項目で小幅ながら改善を予想していますが、円高や低価格志向の影響で採算性が低水準の予想となっています。
- ・行政への要望については、発注関係、雇用支援、農林業支援、地域の活性化策、減税などが多く要望されています。
- ・本部の取組みについては、肯定的なものが20件、否定的なものが9件という結果となりました。

### ＜D I 値を使った業種ごとの景況感分析＞

- ・農林業 猛暑の影響から抜け出し回復傾向がみられ、先行きも回復を予想。
- ・建設業 引続き低水準でほぼ横ばい、先行きは少し改善を見込むが低水準。
- ・製造業 回復傾向を継続しながらやや上昇、先行きも回復傾向が続く予想。
- ・運輸業 回復傾向から急激な悪化、先行きも急激な悪化を予想。
- ・卸・小売業 売上が上昇、採算性は低水準、先行きは悪化を予想。
- ・サービス業 引続き低水準でほぼ横ばい、先行きは売上の低下を予想。

### ＜過去の調査との分析＞

全ての項目で前年3月以降順調に回復傾向を示していましたが、昨年3月以降、踊り場入りの状態からエコカー補助の終了や円高の影響により悪化傾向が見えましたが、少し改善し、見通しも小幅な改善を見込んでいるため、当分の間踊り場入りの状態が続くものと思われます。

### ◎D I 値とは

日本銀行で発表している「主要(全国)企業短期経済観測調査」いわゆる「日銀短観」で使われている経済指数をディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)略して「D I 値」といいます。

「D I 値」は、単純に3つの選択肢、たとえば「良い」、「変わらない」、「悪い」を用意し、回答から%を求め「良い」の%から「悪い」の%を引いた指数(%ポイント)が0を境に0以上になれば景気回復、0以下になれば景気後退を示す方法です。

# 12月景況感・ニーズ調査結果

なかつがわ全市緊急経済対策本部事務局

## ○ 調査の概要

### 1 調査の目的

市内事業所の実態と動向を把握し、現在の経済危機が市内の事業所にどのような影響を及ぼしているか、さらに今後の状況はどのようになると予想されているのかを調査し、併せて行政への要望と現在までの取組みに対する意見等を調査し、今後の緊急経済対策の分析資料とするとともに取組みに対する検証の資料とすることを目的とする。

### 2 調査対象

市内の事業所のうちから、中津川商工会議所及び中津川北商工会において抽出された、388事業所と農林畜産業の景況感聞き取り調査団体を対象とした。

抽出数	中津川商工会議所	288 事業所
	中津川北商工会	100 事業所
	農林畜産業団体	30 事業所
	計	418 事業所

### 3 調査方法

アンケート方式  
(調査用紙を郵送又はFAX送信して、FAXで回答)

### 4 調査期間

12月15日～1月17日(回答期限1月11日から延長)

### 5 調査項目

#### 【景況感調査】

- 1) 受注(売上高)について { ①前年同期と比べて  
②6ヶ月先の見通し
- 2) 採算性について { ①前年同期と比べて  
②6ヶ月先の見通し
- 3) 従業員について { ①前年同期と比べて  
②6ヶ月先の見通し  
③平成23年春の採用予定
- 4) 資金繰りについて { ①前年同期と比べて  
②6ヶ月先の見通し

#### 【ニーズ調査】

- 5) 行政に望むもの
- 6) なかつがわ全市緊急経済対策本部の取組みについて

### 6 回答数

150件(1月17日回答分を含む)

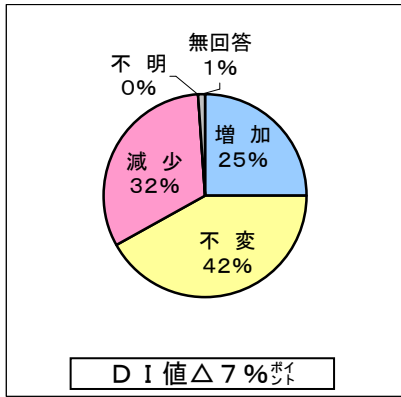
《業種別》		《地区別》	
農林業	30件	中津川	97件
建設業	29件	坂下・川上・山口	12件
製造業	40件	加子母・付知・福岡・蛭川	41件
運輸業	2件	計	150件
卸・小売業	17件		
サービス業	32件		
計	150件		

# 12月景況感調査結果

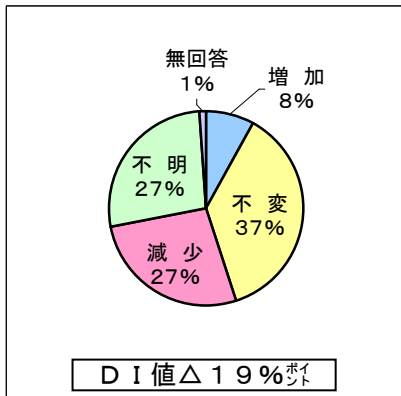
## 【景況感調査】

### 1) 受注(売上高)について

①前年同期と比べて

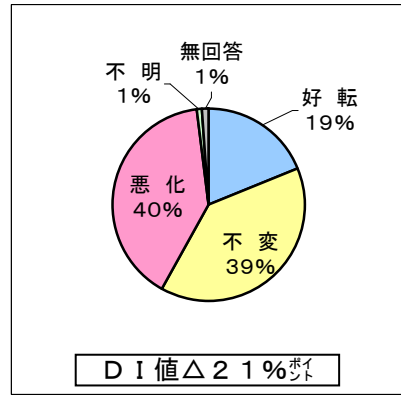


②6ヶ月先の見通し

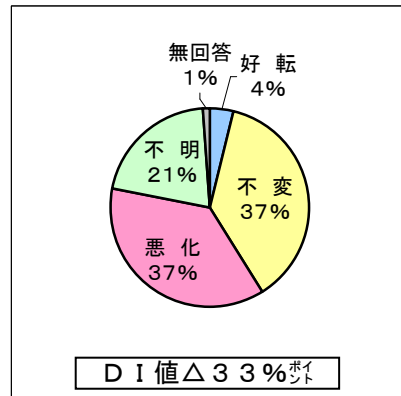


### 2) 採算(収益)性について

①前年同期と比べて

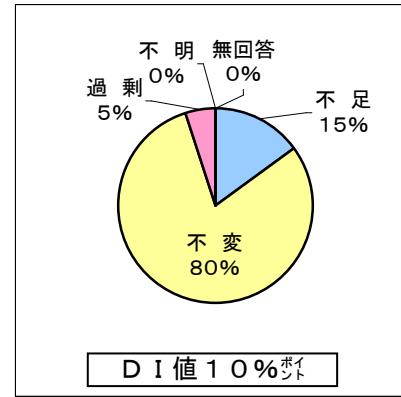


②6ヶ月先の見通し

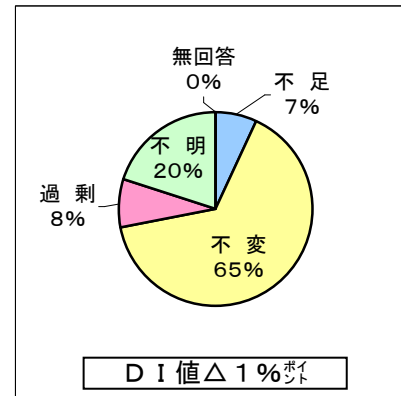


### 3) 従業員について

①前年同期と比べて

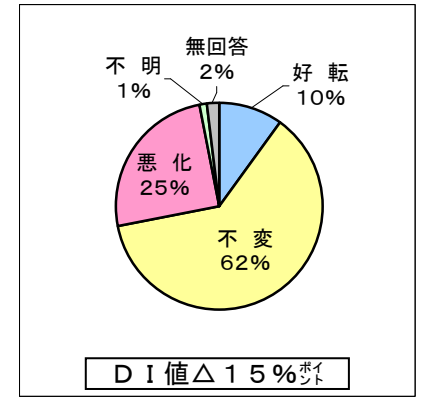


②6ヶ月先の見通し

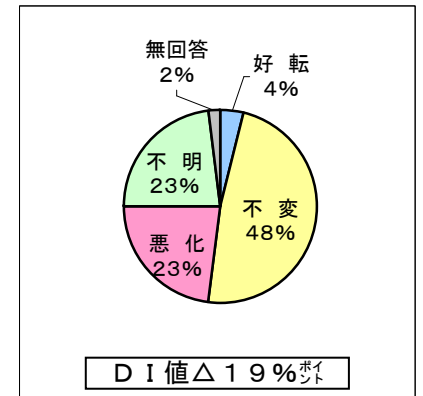


### 4) 資金繰りについて

①前年同期と比べて



②6ヶ月先の見通し



## 【ニーズ調査】

### 行政へ望むもの

・地元企業に優先的に工事や事業を発注してほしい。	9 件
・その他工事や事業の発注に関係するもの。	9 件
・就職や雇用の支援などに関するもの。	7 件
・農林業政策の充実など農林畜産業支援に関するもの。	7 件
・地域などの活性化の推進に関するもの。	6 件
・各種税制での優遇や減免をしてほしい。	3 件
・その他緊急経済対策としての支援や助成に関するもの。	7 件
・市政・国政全般に関するもの。	13 件
・その他の要望。	2 件
・緊急経済対策に対して「要望なし」やその他の意見。	9 件
計	72 件

### なかつがわ全市緊急経済対策本部の取組みについて

#### 〔肯定的な意見〕

・対策の継続や推進を期待する。	10 件
・良い事だと思う。	8 件
・その他「ありがたい。」など	2 件
計	20 件

#### 〔否定的な意見〕

・対策が感じられない。	5 件
・その他「効果が良くわからない。」や「対策は必要ない。」など	4 件
計	9 件

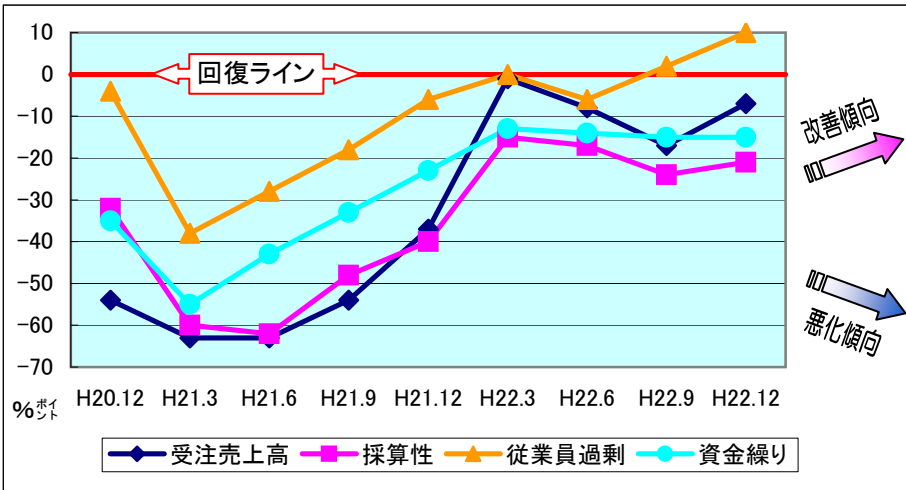
#### 〔要望的な意見〕

・工事や事業の発注に関係するもの。	5 件
・就職や雇用対策に関するもの。	3 件
・金融支援に関するもの。	3 件
・その他業種転換や取引の支援などに関するもの。	5 件
・その他行政の対する要望など。	4 件
・特になし。	2 件
計	22 件

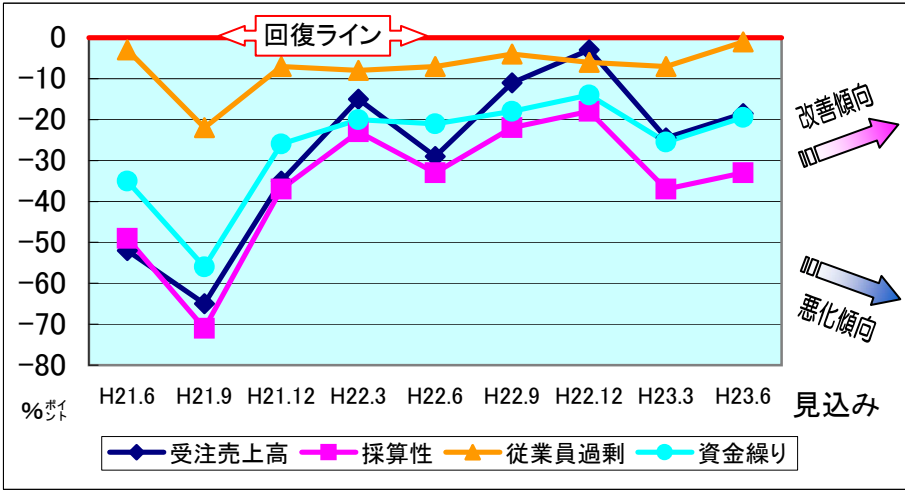
# 景況感調査のD I 値による分析（12月）

◎H20. 12月～H22. 9月の調査と比較して分析

設問 ①前年同期と比べて



設問 ②6ヶ月先の見通し



◎ 景気が回復する中で一時的な中休み状態にまだあると思われるますが、低価格志向の影響により、採算性と資金繰りに改善傾向がなかなか見えない状況です。

◎ 全項目で小幅な改善を予想していますが、円高や低価格志向の影響が続き利益が上がらないと思われることから採算性が低水準の予想となっています。

≪使用資料≫

- 会員実態・業況調査 (H20. 9～12)
- 緊急経済アンケート調査 (H21. 2～3)
- 景況感・ニーズ調査 (H21. 6)
- 景況感・ニーズ調査 (H21. 9)
- 景況感・ニーズ調査 (H21. 12)
- 景況感・ニーズ調査 (H22. 3)
- 景況感・ニーズ調査 (H22. 6)
- 景況感・ニーズ調査 (H22. 9)
- 景況感・ニーズ調査 (H22. 12)

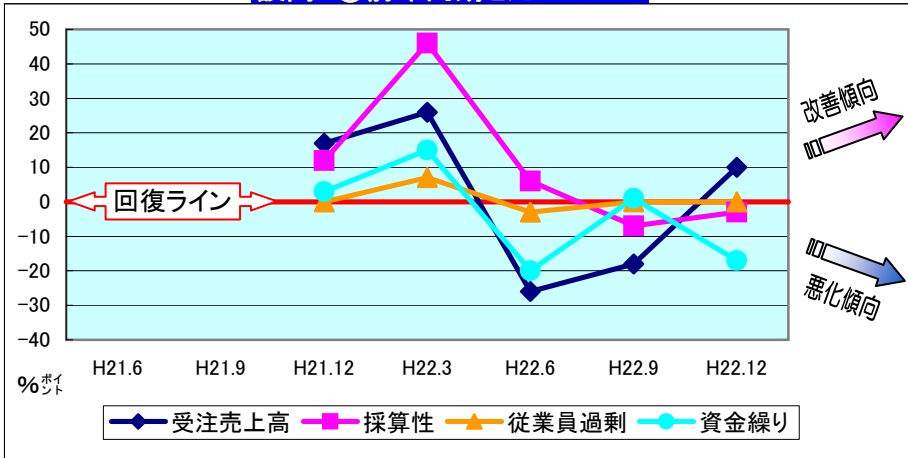
- 中津川北商工会
- 中津川商工会議所
- 本部
- 本部
- 本部
- 本部
- 本部
- 本部
- 本部

- 1,172社 ⇒ H20. 12
- 100社 ⇒ H21. 3
- 159社 ⇒ H21. 6
- 150社 ⇒ H21. 9
- 222社 ⇒ H21. 12
- 167社 ⇒ H21. 3
- 167社 ⇒ H22. 6
- 156社 ⇒ H22. 9
- 150社 ⇒ H22. 12

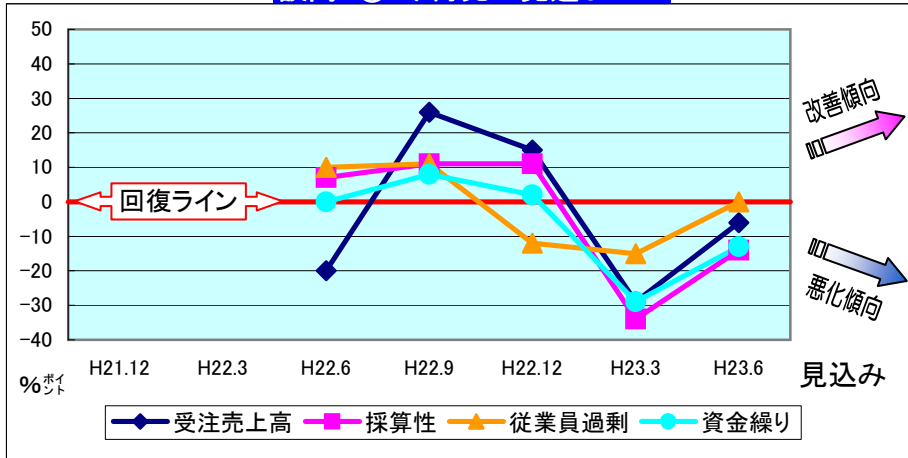
# 業種別

## 農 林 業

設問 ①前年同期と比べて



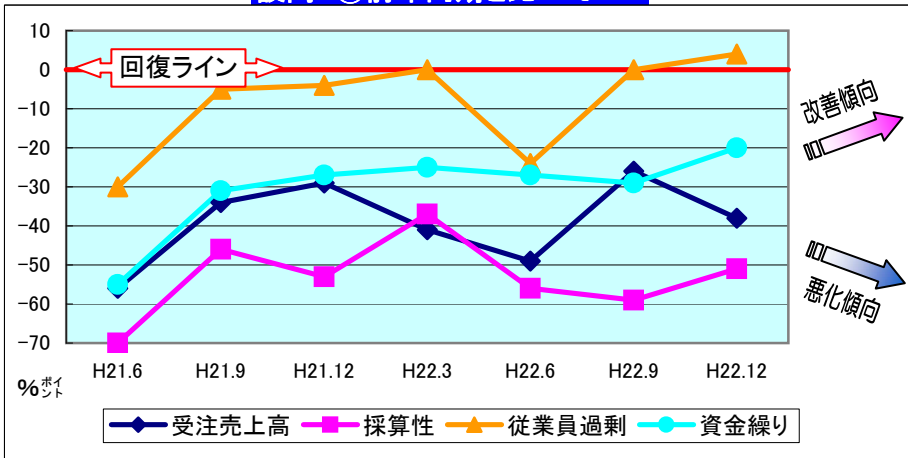
設問 ②6ヶ月先の見通し



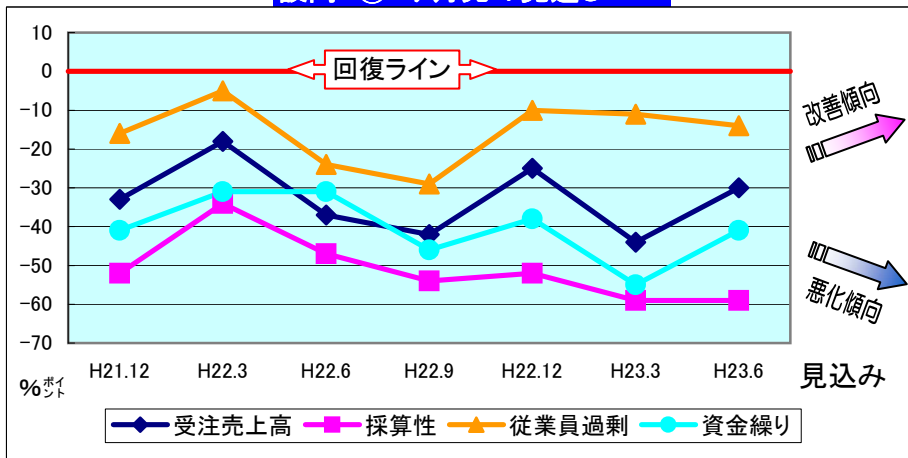
長雨と猛暑の影響から抜け出して年末には回復傾向になっていますが、収益性の低下により資金繰りがやや悪い状態となっています。見通しは、すべての項目で改善を予想しています。

## 建 設 業

設問 ①前年同期と比べて



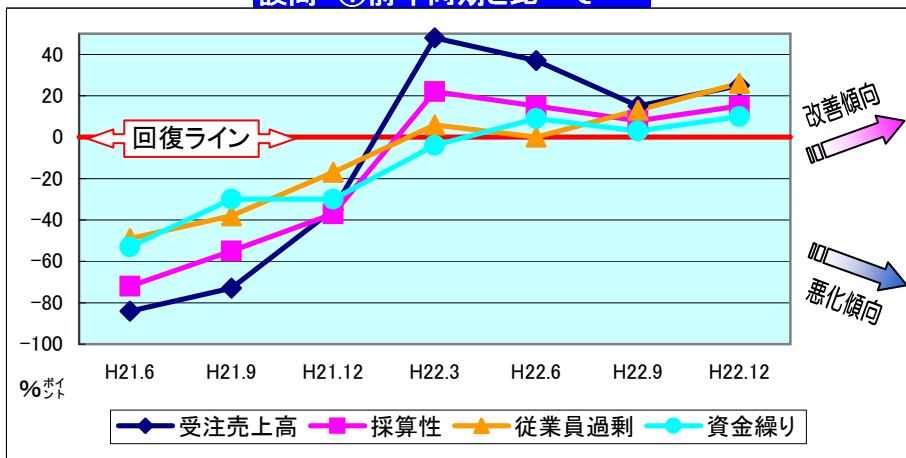
設問 ②6ヶ月先の見通し



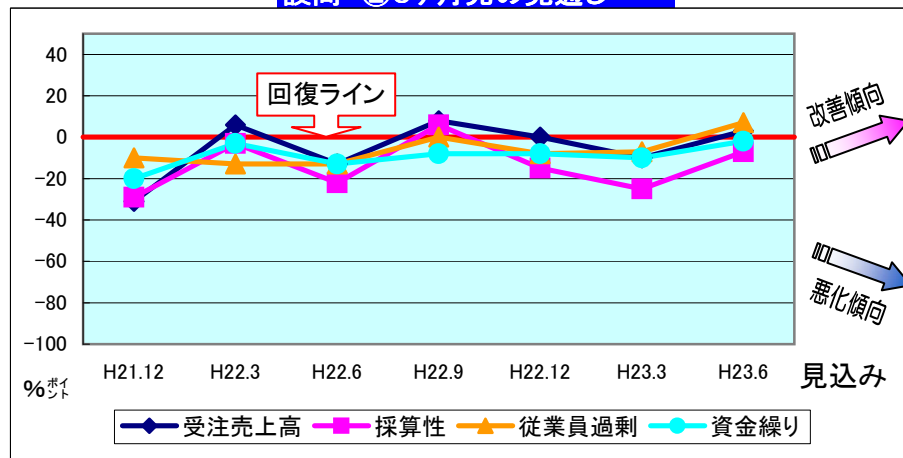
従業員の過剰感は回復傾向となっていますが他の項目は低水準で上下しており、改善傾向もなかなか見られない状況となっています。見通しは受注売上高と資金繰りで改善を見込むものの、従業員の過剰感も含めて低水準を予想しており、当分回復は見込めない予想となっています。

## 製造業

### 設問 ①前年同期と比べて



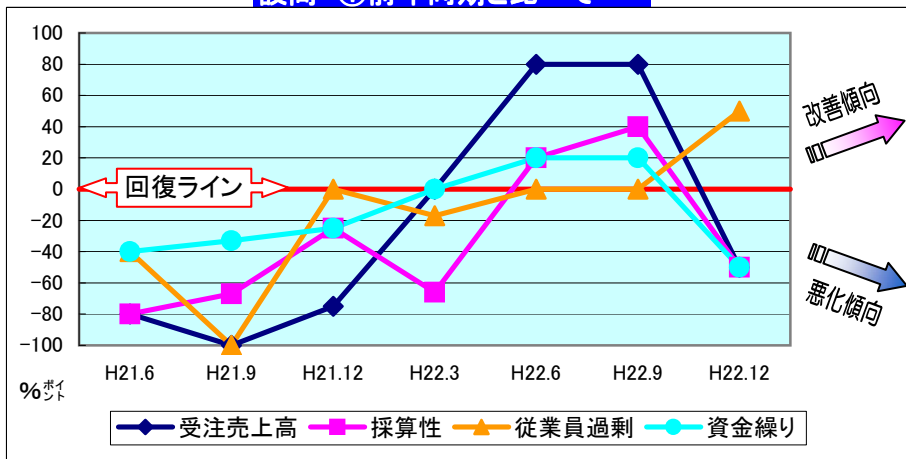
### 設問 ②6ヶ月先の見通し



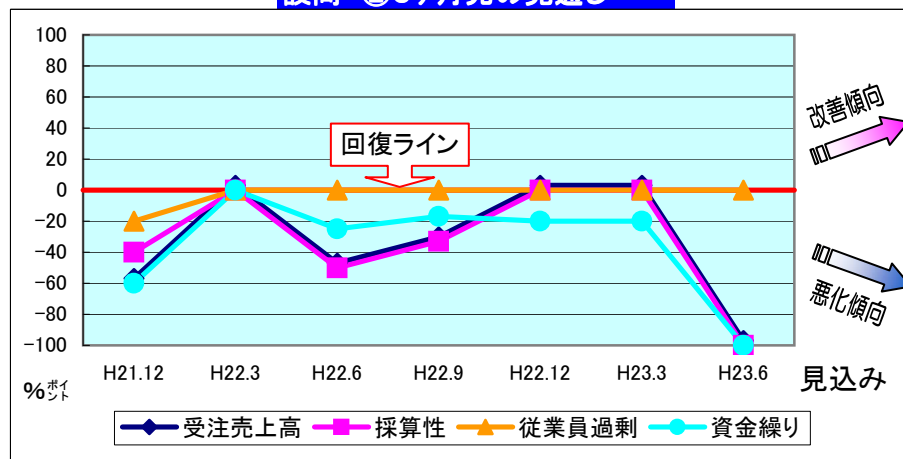
一時的に受注売上高は減少したものの回復ラインより上にあり、今回全項目とも小幅ながら上昇し、回復傾向が続く状況となっています。見通しも採算性が少し低いものの、全項目とも改善を見込んでおり、回復傾向が続く予想となっています。

## 運輸業

### 設問 ①前年同期と比べて



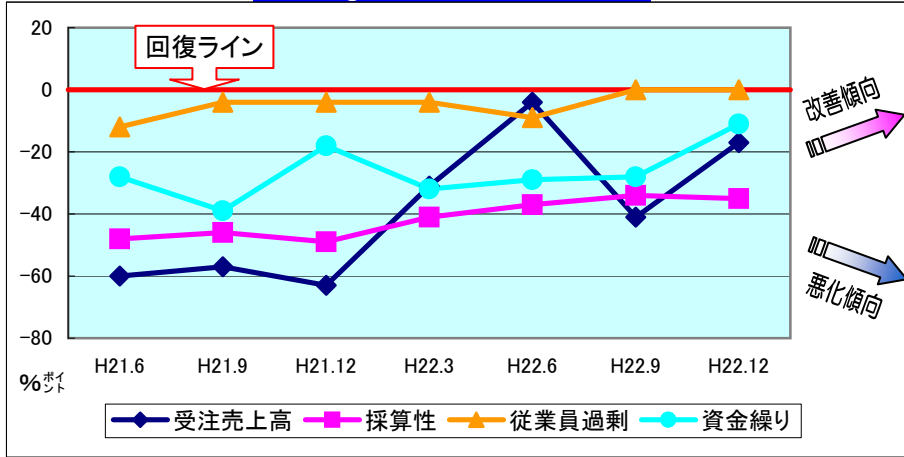
### 設問 ②6ヶ月先の見通し



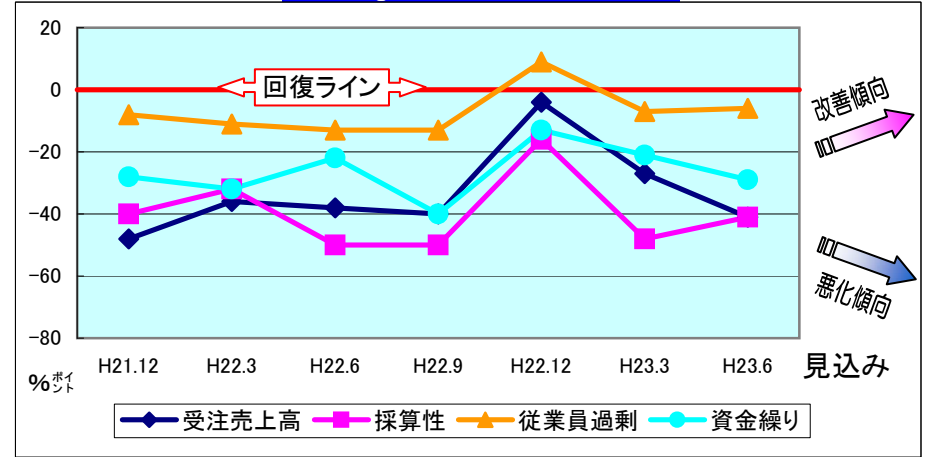
回答数が少ないため大きな変動となっていますが、順調に回復傾向を示していたものが従業員の過剰感以外は今回急激な悪化となっています。見通しも同じく従業員の過剰感が横ばいの他は、急激な悪化の予想となっています。

## 卸・小売業

設問 ①前年同期と比べて



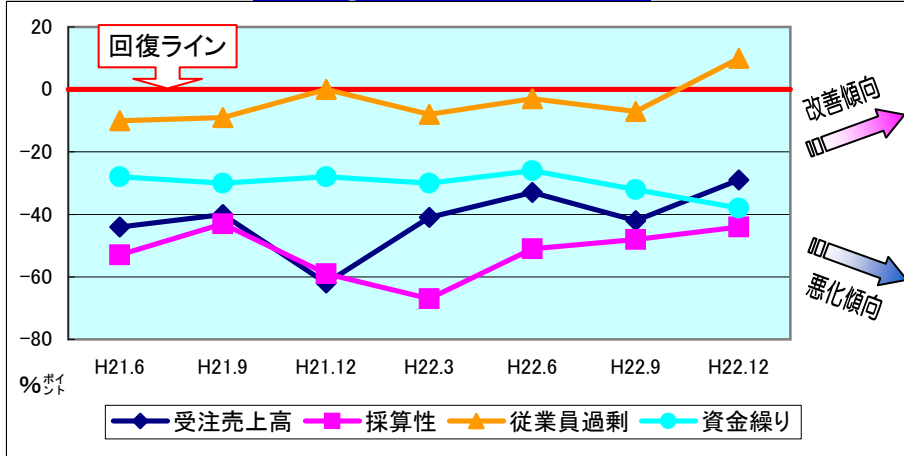
設問 ②6ヶ月先の見通し



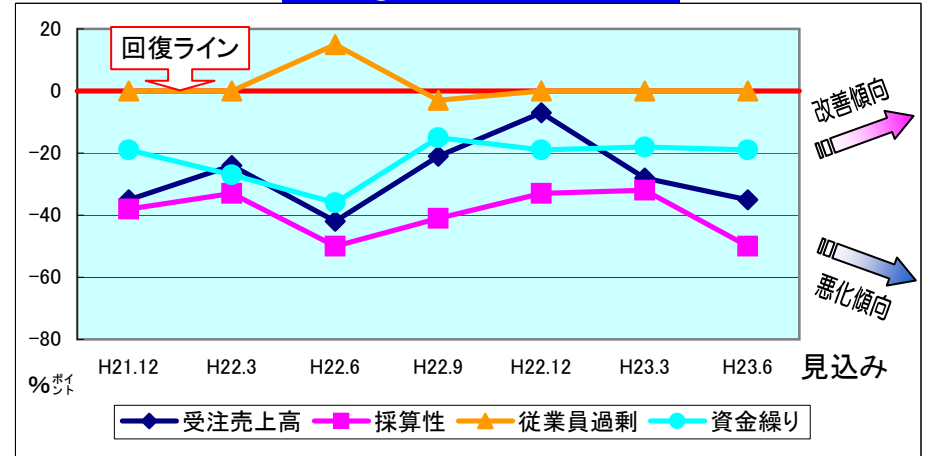
乱高下はあるものの、採算性以外は改善傾向を示していますが、採算性は低価格志向の影響から低水準となっています。見通しは、採算性が少し改善を見込むものの、悪化傾向を予想するものとなっています。

## サービス業

設問 ①前年同期と比べて



設問 ②6ヶ月先の見通し



従業員の過剰感は回復傾向となっていますが他の項目は低水準で上下しており、改善傾向もなかなか見られない状況となっています。見通しは従業員の過剰感以外は低水準で悪化を見込んでおり、当分回復は見込めない予想となっています。